

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 27 年 3 月 5 日 (2015.3.5)

【公開番号】特開 2014-194777 (P2014-194777A)  
 【公開日】平成 26 年 10 月 9 日 (2014.10.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-056  
 【出願番号】特願 2014-67731 (P2014-67731)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 9/54 (2006.01)**

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 4 0 C

G 0 6 F 9/06 6 4 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 6 日 (2015.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スクリプト遅延ローダを、要請によって、クライアント・コンピュータに提供する送受信部を含む同期式スクリプト遅延ローディング・システムであって、  
 前記スクリプト遅延ローダは、前記クライアント・コンピュータで実行され、  
 スクリプト・モジュール別に対応する仮想関数を生成してメモリにロードする仮想関数生成部と、

特定のスクリプト・モジュールの最初の実行要請による前記仮想関数呼び出しのときに、  
 保存空間に保存された当該スクリプト・モジュールをメモリにロードさせるモジュール実行部と、を含む同期式スクリプト遅延ローディング・システム。

【請求項 2】

前記スクリプト遅延ローダは、  
 使用されるスクリプト・モジュールのバージョンと、前記保存空間に保存されたスクリプト・モジュールのバージョンとが同一であるか否かということを確認する初期化部をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング・システム。

【請求項 3】

前記スクリプト遅延ローダは、  
スクリプト・ソースコードを要請するソースコード呼び出し部と、  
 前記要請によって伝送されたスクリプト・ソースコードを、各スクリプト・モジュール別に分離し、前記保存空間に保存する分離部と、をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング・システム。

【請求項 4】

前記分離部は、特定区分文字に基づいて、各スクリプト・モジュール別に分離することを特徴とする請求項 3 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング・システム。

【請求項 5】

前記分離部は、各スクリプト・モジュールの遅延ローディング・オプションを分離し、前記保存空間にさらに保存することを特徴とする請求項 3 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング・システム。

**【請求項 6】**

前記生成された仮想関数は、対応するスクリプト・モジュールを、前記保存空間から読み取ってメモリにローディングするための機能を含むことを特徴とする請求項1に記載の同期式スクリプト遅延ローディング・システム。

**【請求項 7】**

前記最初の実行要請は、使用されるスクリプト・モジュールのバージョンと同一バージョンを有する前記特定のスクリプト・モジュールが、最初の実行されるときに発生することを特徴とする請求項1に記載の同期式スクリプト遅延ローディング・システム。

**【請求項 8】**

前記仮想関数または前記モジュール実行部は、前記ロードされた特定のスクリプト・モジュールに含まれたメソッドのうち、前記仮想関数をオーバーライドしたメソッドを、さらに 1 回呼び出す機能をさらに含むことを特徴とする請求項1に記載の同期式スクリプト遅延ローディング・システム。

**【請求項 9】**

同期式スクリプト遅延ローディング・システムが提供するスクリプト遅延ローダによって遂行される各段階が、

スクリプト・モジュール別に対応する仮想関数を生成してメモリにロードする仮想関数生成段階と、

特定のスクリプト・モジュールの最初の実行要請による前記仮想関数呼び出しのときに、保存空間に保存された当該スクリプト・モジュールをメモリにロードするモジュール実行段階と、を含む同期式スクリプト遅延ローディング方法。

**【請求項 10】**

前記方法は、

前記仮想関数生成段階の前に、

使用されるスクリプト・モジュールのバージョンと、前記保存空間に保存されたスクリプト・モジュールのバージョンとが同一であるか否かということを確認する初期化段階をさらに含むことを特徴とする請求項 9 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング方法。

**【請求項 11】**

前記方法は、

前記仮想関数生成段階の前に、

スクリプト・ソースコードを要請するソースコード呼び出し段階と、

前記要請によって伝送されたスクリプト・ソースコードを、各スクリプト・モジュール別に分離し、前記保存空間に保存して分離する段階と、をさらに含むことを特徴とする請求項 9 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング方法。

**【請求項 12】**

前記分離段階は、特定区分文字に基づいて、各スクリプト・モジュール別に分離することを特徴とする請求項 11 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング方法。

**【請求項 13】**

前記分離段階は、各スクリプト・モジュールの遅延ローディング・オプションを分離し、前記保存空間に保存する遅延ローディング・オプション分離段階をさらに含むことを特徴とする請求項 11 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング方法。

**【請求項 14】**

前記生成された仮想関数は、対応するスクリプト・モジュールを、前記保存空間から読み取ってメモリにローディングするための機能を含むことを特徴とする請求項 9 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング方法。

**【請求項 15】**

前記最初の実行要請は、使用されるスクリプト・モジュールのバージョンと同一バージョンを有する前記特定のスクリプト・モジュールが最初の実行されるときに発生することを特徴とする請求項 9 に記載の同期式スクリプト遅延ローディング方法。

**【請求項 16】**

前記モジュール実行段階は、前記ロードされた特定のスクリプト・モジュールに含まれたメソッドのうち、前記仮想関数をオーバーライドしたメソッドをさらに１回呼び出す段階をさらに含むことを特徴とする請求項９に記載の同期式スクリプト遅延ローディング方法。

【請求項 １ ７】

請求項 ９ ないし １ ６ のうち、いずれか １ 項に記載の方法を実行するためのプログラムが記録されていることを特徴とするコンピュータで読み取り可能な記録媒体。